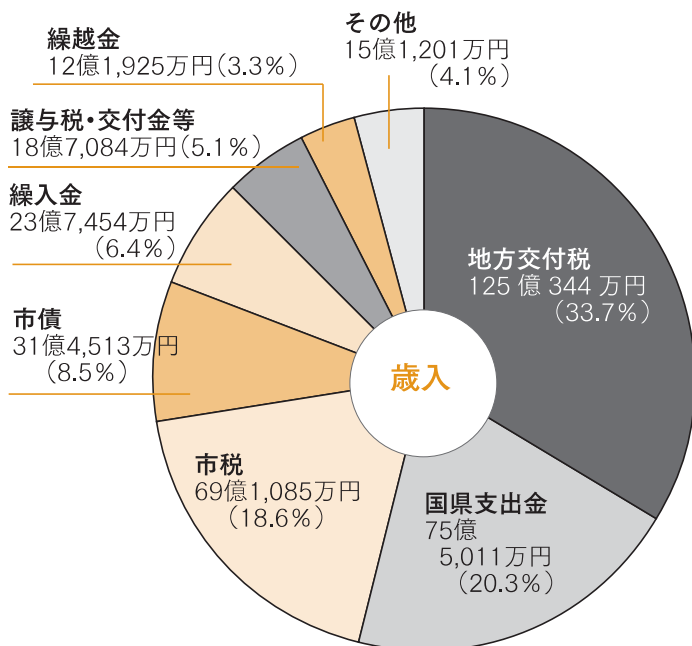


平成
30年度

決算状況

八女市では条例に基づき、毎年5月と11月に市の財政状況を公表しています。今回は、平成30年度の決算の内容をお知らせします。広報紙では、それぞれの項目について簡素化して掲載していますが、詳しい決算の内容については市のホームページの「財政状況」および財政課内で閲覧することができます。
●問い合わせ：財政課財政係（☎23・1346）

▼平成30年度歳入 370億8,617万円



▼八女市の財政を家計に例えたら（H30年度決算）

平成30年度の一般会計決算額を1月当たりの収入30万円の家計に置き換えてみました。

家庭の収入		市の収入		割合
給料（基本給）	6万6千円	市税	69億1千万円	
		使用料・手数料・分担金・負担金・諸収入	12億円	
給料（諸手当）	11万6千円	地方交付税	125億円	38.8%
		地方譲与税・各種交付金	18億7千万円	
親からの援助	6万1千円	国県補助金	75億5千万円	20.3%
その他の臨時収入	2千円	寄付金・財産収入	3億円	0.8%
ローン（借入金）	2万6千円	市債	31億5千万円	8.5%
貯金の取り崩し	1万9千円	繰入金	23億8千万円	6.4%
前月の残金	1万円	繰越金	12億2千万円	3.3%
収入計	30万円	歳入計	370億8千万円	100%

※自主財源（32.4%）
家＝9万7千円
市＝120億1千万円

※依存財源（67.6%）
家＝20万3千円
市＝250億7千万円

依存財源の内、国・県の補助金等を活用した財源（59.1%）
家＝17万7千円
市＝219億2千万円

家庭の支出		市の支出		割合
食費	3万8千円	人件費	47億3千万円	
医療費や子どもの学費	5万6千円	扶助費	70億円	19.5%
ローンの返済	2万9千円	公債費（※1）	35億5千万円	9.9%
光熱水費などの雑費	3万6千円	物件費	44億4千万円	12.4%
車などの修理費	2千円	維持補修費	2億4千万円	0.7%
親戚への援助など	3万3千円	補助費等	41億5千万円	11.5%
貯金	8千円	積立金	9億5千万円	2.7%
生命保険など	6千円	投資・出資・貸付金	7億1千万円	2.0%
子どもへの仕送り	3万2千円	繰出金	39億1千万円	10.9%
自宅の増改築や家財道具の購入	4万6千円	普通建設事業費	56億8千万円	15.8%
壊れた持ち物の再購入	4千円	災害復旧事業費	5億2千万円	1.4%
支出計	29万円	歳出計	358億8千万円	100%

※義務的経費（42.6%）
家＝12万3千円
市＝152億8千万円

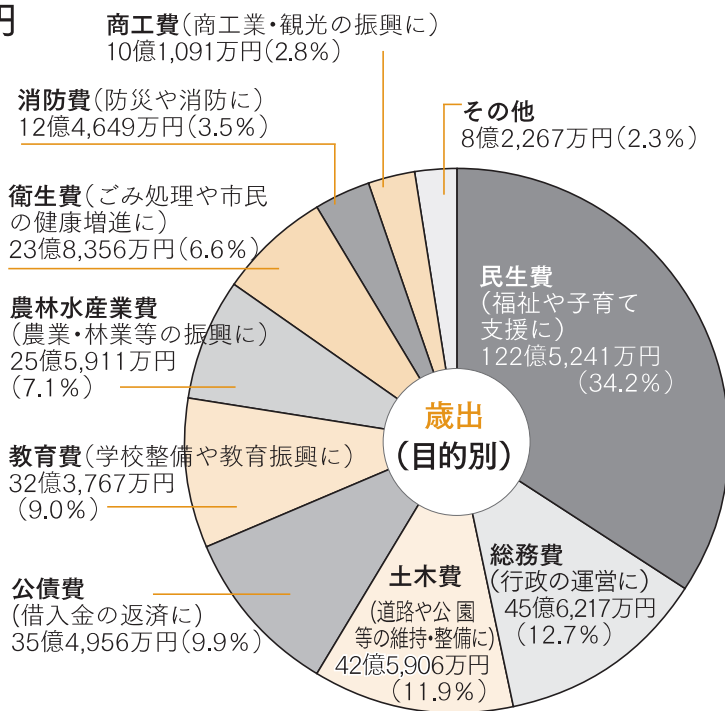
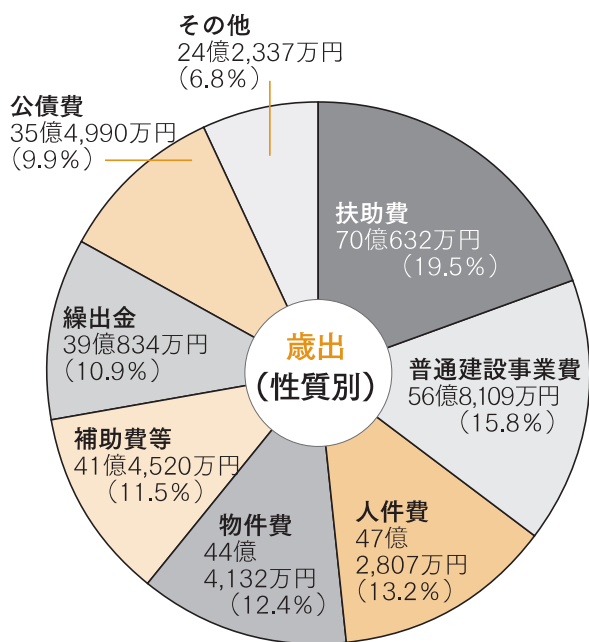
※その他の経費（40.2%）
家＝11万7千円
市＝144億円

※投資的経費（17.2%）
家＝5万円
市＝62億円

翌月に使えるお金	1万円	余剰金	12億円
----------	-----	-----	------

※1市の場合、借入金の元利償還金の返済（公債費）にあたっては、その一部が国から地方交付税として交付されます。よって、市の実質負担は小さくなります。

▼平成30年度歳出 358億8,361万円



財政用語の解説

【地方交付税】 所得税など国が徴収した税金の中から、市の財政状況に応じて交付されるお金

【国県支出金】 事業など特定の目的の費用として、国・県から交付されるお金

【市債】 大きな事業を行うために、国や金融機関から借り入れるお金

※借入は、内容に応じてその元利償還金に対して、交付税措置があります。(例：過疎対策事業債70%など)

【自主財源】 市町村税など自主的に収入する財源

【依存財源】 他に依存する形で調達する財源

【義務的経費】 支出することが制度的に義務づけられている経費のこと。人件費、扶助費、公債費の3つからなる。

【投資的経費】 道路、橋りょう、公園、学校、公営住宅の建設等社会資本の整備等に要する経費

● 決算の状況
平成30年度は、国県の補助事業等の財源を効果的に活用しながら自主財源を有効に使い、財政の安定運営を進め、財源の重点的な配分を行いました。少子高齢化対策、安心安全なまちづくりの推進、乳幼児・こども医療対策事業、観光の振興、過疎対策や定住促進などの事業を推進してきました。

一般会計決算額は歳入370億8617万円、歳出358億8361万円、差し引き12億256万円となりました。これから翌年度へ繰り越した事業にあてる財源2億3630万円を差し引き、実質収支で9億6626万円の黒字決算となりました。この内から1億円を財政調整基金に積み立て、残りの黒字額8億6266万円を令和元年度の

● 健全化判断比率(表1)
健全化判断比率および資金不足比率は、平成30年度の決算状況を法律に基づき全国統一の指標として計算したもので、基準を超えた場合は、財政健全化計画を策定し、計画的に健全化に向けて取り組まなければなりません。八女市は、国が示している基準を下回っており、地方公営企業の資金不足も生じていません。

▽実質赤字比率「一」については、普通会計(一般会計・住宅新築資金等貸付事業費特別会計・失部診療所特別会計)において黒字であることを意味しています。▽連結実質赤字比率「二」については、普通会計にその他の特別会計を含めた数値が黒字であることを意味しています。▽実質公債

費比率は、その年度の標準財政規模に対して起債(借金)の返済額(公営企業分や一部事務組合の起債を含む)の割合を出したものです。▽将来負担比率「二」については、負債に充てるための財源が負債額を上回っていることを示しています。

▼健全化判断比率(表1)

(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
八女市	—	—	8.8	—
早期健全化基準	12.51	17.51	25.0	350.0
国の財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

※実質赤字額および連結実質赤字額がなく、将来負担比率は算定されないため、数値は「—」と表示しています。

快 適で安全・安心な暮らしを支える都市基盤づくりと都市機能

- 乗合タクシー運行事業… 7,658 万円
- 道路・河川改良事業… 14 億 3,055 万円
- 防災対策事業… 2,794 万円
- 防災土育成事業… 304 万円
- 消防関係施設設備等整備事業… 6,380 万円

PickUp! 防災土育成事業

自主防災組織および消防団から受講者を選出していただき、2日間かけて防災土養成講座を実施しました。地域において、災害時や平常時に中心となって活動する防災士を48人育成することができました。

人 と自然にやさしく、暮らしやすい生活空間づくり

- 空き家バンク事業… 2,181万円
- 若年世帯家賃等支援補助事業… 4,921万円
- マイホーム取得支援事業… 5,054万円
- 移住・定住支援センター事業… 648万円
- 浄化槽設置整備事業… 1億 279 万円
- 高齢者運転免許証自主返納支援事業… 511万円

PickUp! 空き家バンク事業

空き家情報の公開や現地見学、不動産業者等の連携を図り、空き家の利活用および移住定住促進を図りました。また、企業版空き家バンク事業として、地域しごとづくり拠点施設「愛称：南仙荘」を整備しました。



PickUp! 高齢者運転免許証自主返納支援事業

平成30年度から八女市高齢者運転免許証自主返納支援事業を開始し、426人に対し八女市タクシー共通回数券を交付しました。

地 場産業・観光の振興と地域資源を活かした新産業創出、雇用の確保

- 新規就農促進支援事業… 9,115 万円
- 八女材普及促進住宅資材助成事業… 3,780 万円
- 新規創業者及び新事業展開補助事業… 820 万円
- 伝統工芸等継承者育成事業… 100 万円
- 伝統工芸品情報発信事業… 1,155 万円

PickUp! 新規就農促進支援事業

63人の新規就農者に対し農業次世代人材投資資金を交付し、新規就農者の定着と経営の発展を図りました。

PickUp! 伝統工芸品情報発信事業

世界で活躍するデザイナーが八女市の伝統工芸の製作に携わる職人10人の工房を訪問。職人の技術・技法を学び、デザイナーと職人がコラボレーションして新商品を開発する取り組みに対して、通訳の配置やWiFi環境の整備等の支援を行いました。



また、インバウンド対策として八女伝統工芸館のホームページリニューアルを行い、八女伝統工芸品の情報発信を行うことで、海外からの観光客誘致に向けた取り組みを行いました。

PickUp! 八女市健康ポイント事業

40歳以上の市民を対象に、健康ポイント事業を実施。健康への関心を高め、特定健診・特定保健指導・がん検診などへの積極的な受診や、スポーツ・健康づくり・介護予防などの教室や講座への参加を促し、医療費の抑制や健康寿命の延伸に取り組みました。



PickUp! 子ども医療対策事業

乳幼児の入院・通院に係る医療費の助成、小・中学生の入院に係る医療費の助成、小学生の通院に係る医療費の一部を助成することに加え、平成30年10月から中学生の通院（一部自己負担あり）まで対象を拡大し、さらなる福祉の増進を図ることができました。

少 子・高齢社会に対応し、自分らしく、安心して暮らせるまちづくり

- 八女市健康ポイント事業… 256 万円
- 各種がん検診委託事業… 7,673 万円
- 介護予防事業… 2 億 164 万円
- 子ども医療対策事業… 1 億 6,382 万円
- やめっこ夢祝金支給事業… 3,067 万円
- やめUIターン子ども応援手当支給事業… 516 万円
- 路線バス通学定期補助事業… 1,143 万円
- 子どもの学習支援事業… 112 万円

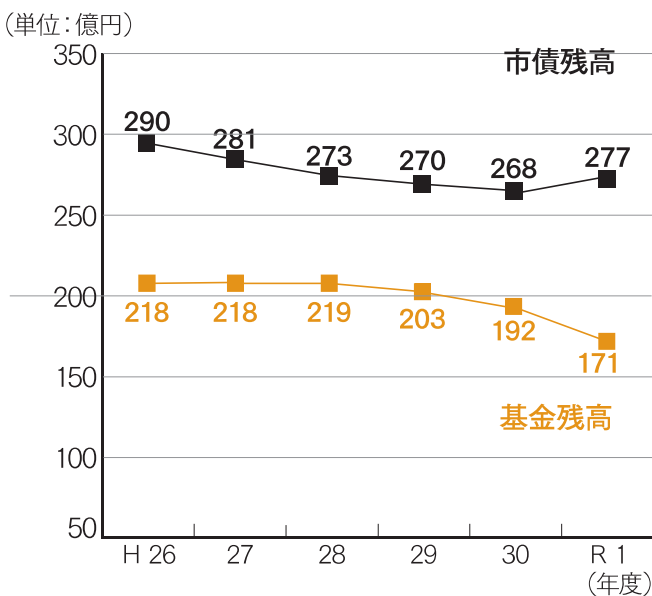
PickUp! 子どもの学習支援事業

子どもたちに学習支援と居場所づくりを行うことにより、学力向上とともに基本的な生活習慣の定着に努めました。

■平成30年度特別会計決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業費	90億7,287万円	88億4,983万円	2億2,304万円
簡易水道事業費	1億9,175万円	1億8,101万円	1,074万円
住宅新築資金等貸付事業費	209万円	8,798万円	△8,589万円
下水道事業	12億9,259万円	12億8,566万円	693万円
介護保険事業費	78億3,313万円	75億1,412万円	3億1,901万円
後期高齢者医療	10億2,396万円	10億2,041万円	355万円
農業集落排水事業	8,860万円	8,520万円	340万円
矢部診療所	8,206万円	7,005万円	1,201万円
黒木町串毛財産区	122万円	1万円	121万円
黒木町木屋財産区	873万円	81万円	792万円

■一般会計市債・基金残高の推移



注：平成30年度までは決算、令和元年度は見込み

市債(市の借金)の残高は、令和元年度末には277億円となる見込みです。

基金(市の貯金)の残高は、令和元年度末には171億円となる見込みです。

生 生きる力の育成と豊かな心を育てるまちづくり

- 学力向上推進事業…8,931万円
- 入学祝金事業…4,223万円
- 八女市奨学金…1,147万円
- 八女東部スポーツ公園施設整備事業…4,930万円

PickUp!

八女東部スポーツ公園施設整備事業

八女東部スポーツ公園(グリーンフィールド八女)に屋根付き観客席の整備を行ったことで、スポーツ拠点施設としての環境を高めることができました。大規模サッカー大会などさまざまな大会を誘致することがこれまで以上に可能となりました。



市 民とともに歩み、市民とともに進めるまちづくり

- まちづくり協議会等の育成・支援…2,868万円
- 庁舎建設事業…2,183万円
- 都市交流事業…690万円

PickUp! 庁舎建設事業

市民アンケートや市民懇談会等を実施しながら、基本方針や新庁舎の必要機能・規模、建設場所等を取りまとめた基本計画を策定しました。併せて、来庁者が利用しやすい窓口空間や職員が働きやすい執務環境等を実現するための現状調査を実施しました。

